

起こりうる災害に日常の備えを！

～ 3. 11津波避難誘導・情報伝達訓練（古野牛川） ～



災害対策本部長の越善村長

今回は青森県東方沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し津波が襲来、広範囲にわたり停電、家屋の倒壊・火災等の被害が発生したとの想定

本訓練は、昨年の3月11日に発生した東日本大震災を教訓に、津波に関する理解と関心を深め、防災意識の向上を図るとともに、震災の記憶を風化させないことを目的に、毎年会場を変えて実施する予定としています。

3月11日（日）、古野牛川地区において、3.11津波避難誘導・情報伝達訓練が行われました。



避難訓練参加者

東日本大震災追悼式が行われました。追悼式では震災での犠牲者の方々に黙祷が捧げられ、越善靖夫村長より「いつ、どこで災害が発生するかわからない近

訓練終了後には、同会場にて東日本大震災追悼式が行われました。追悼式では震災での犠牲者の方々に黙祷が捧げられ、越善靖夫村長より「いつ、どこで災害が発生するかわからない近

で実施され、古野牛川地区の住民避難訓練のほか、災害対策本部の設置や県への情報伝達訓練等が行われました。なお、災害対策本部は本来、村防災センター内に設置することとされていますが、今回、訓練参加者にも災害対策本部の役割等をご理解いただくため、避難所である「しおさいの館」に設置・公開して訓練が行われました。



DVD上映の様子

でも忘れずに、訓練等を通して、いつ起こるかわからない災害に備えましょう。

続いて、追悼式参加者に、地震に対する正しい知識と安全のための備えについて理解を深めることを目的に、DVD上映が行われました。また、防災資機材の展示や非常食の試食を行ない、非常時に役立つ備えについて紹介しました。

年の天候ですが、村としても一層気を引き締め、避難所の機能充実等を始め、防災の備えを充実し、皆さんが安心できる環境作りを努めて参ります」と挨拶がありました。



参加者全員で震災の犠牲者に黙祷を捧げました



非常食展示・試食の様子